



平成30年度 貴船小学校便り

きぶね

学力特集号

平成30年10月24日
北九州市立貴船小学校
校長 新森 修二

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	学習指導要領の領域等では、全領域で全国平均を下回っています。さらなる授業改善を進めていく必要があります。
国語B	学習指導要領の領域等では、選択制の「書くこと」の領域が伸びていましたが、文章の構成を理解したり、それらを整理して自ら書くというにおいては、やや苦手になっている傾向があります。
算数A	学習指導要領の領域等では「量と測定」の領域が全国平均を上回りました。しかし、「図形」の領域が低く、空間認知能力や作図などの能力を上げていく努力が求められます。
算数B	学習指導要領の領域等では、どの領域も全国平均を下回っています。特に「数量関係」の領域の学習に力を注がなければなりません。
理科	学習指導要領の区分等では、どの領域も全国平均を下回っています。特に「エネルギー」や「地球」に関する内容に課題があります。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>○ 「宿題をしていますか」の質問に対し、やっているとの回答が95%を上回っています。家庭学習で1時間以上学習している児童は全体の22%で、まだまだ家庭での学習時間には改善が必要です。</p> <p>○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の質問に対し、肯定的回答が約65%です。本校の主題研究「学び合い」を、継続して取り組んでいきます。</p> <p>○ 生活習慣では、「毎日同じ時刻に寝ていますか」の質問では約3割の児童が「いいえ」であり、家庭での基本的な生活習慣を更に改善していくことが大切であるといえます。</p>

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○ 学習の中で、課題に向かってすべての児童が分かることを目指した「学び合い」は、確実に効果を上げつつあるが、まだまだ発展途上の部分でもあります。更に研究を深め、工夫し、学力定着を目指していきます。

○ のびのびタイムで行っていた「算数チャレンジ」を継続していくことで基礎学力の定着を目指していきます。

② 家庭生活習慣等に関する取組

○ 家庭学習の時間の確保と基本的な生活習慣の改善を、全家庭で取り組み、「早寝・早起き・朝ごはん」ができるようにしましょう。

○ ゲームやスマホに費やす時間が多い児童がいるので、家庭できちんと時間を決めて使用するようになさってください。